



岩東進路指導部だより
第6号 2024.11.27
文責 進路指導部長木村

【3年生へ】 成長の証

全統ブレ共通テストも終わり、いよいよ本番が近づいてきました。これからは気温の低下と共に、人間の抵抗力も低下していくので、これまで以上に体調管理に気をつけて受験勉強がんばりましょう！

受験勉強をしていると、次から次へとわからないことが出てきます。一つ理解しても、新たな疑問が出てきて、やってもやってもその繰り返し…一向に点数は停滞したまま、「これで大丈夫なのか？」と、不安ばかりが募り、焦ることもあるでしょう。これは誰もが経験することです。

でも、見方を変えると、それは当然のことなのです。学びというのは、例えて言うと、自分の持っている知識の風船に次々と新しい学びを加えて膨らませていくようなものです。右下の図のように、すでに知っていること「既知」の風船が膨らめば膨らむほど、まだ知らないこと「未知」との境界は増えていきます。つまり、勉強すればするほど、わからないことが増えるのは当然のことなのです。先月、衆議院議員選挙が行われましたが、子供の頃は政治なんて全くしらなかったけれど、授業で政治について学び、少しずつわかってくると、それに比例してわからないことも増えていくでしょう？そう考えると

わからない ことが増えるのは成長の証

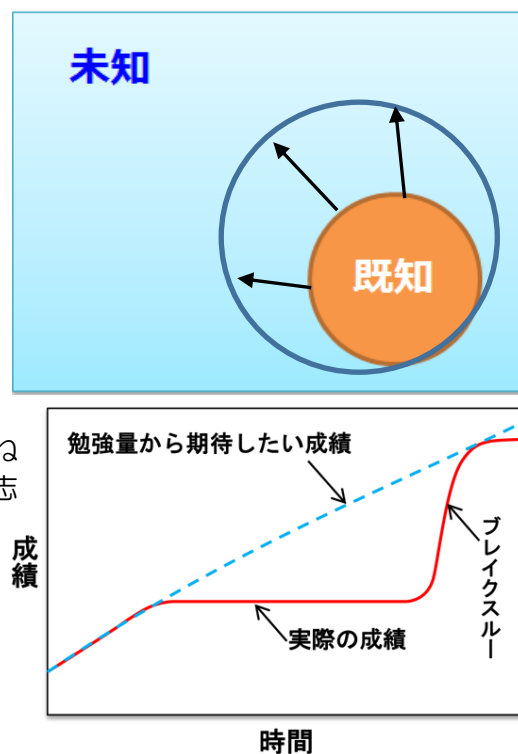
なのだということが理解できるはずですよ。
ですから、決して焦らず、地道に一つずつ解決していけばいいのです。

また、成績や点数は勉強時間に比例して伸びず、

**ある一定の停滞期間を経て、
爆発的に上がる…**

「**ブレイクスルー現象**」が起こること

は、もう知っていますね。大切なのは、その「ブレイクスルー」が起こることを信じて、受験勉強を重ねること、最後の最後まであきらめないこと…過去に志望校合格を勝ち取った先輩方も、同じようにして乗り越えたんですよ。がんばれ!!!



道内限定？

これまで北海道内の色々な学校に勤務し、生徒の進路指導に携わってきたのですが、面談で進路希望を聞いてみると、

卒業後は「**道内の大学へ**」…という者が少なくありません。

理由を聞いてみると、**自宅から通えるから、道外は家賃が高いから、何かあったら困るから**…という回答が返ってきます。岩東も同様です。でも、本当にそうでしょうか？

確かに岩見沢なら札幌の大学へは通学は可能でしょう。でも、実際には札幌の大学へ行っても、そのうち半分くらいは一人暮らしを始めているようです。話を聞いてみると、通学には大体往復で2時間近くかかりますし、列車待ちの時間などを含めると、それ以上に時間をロスします。それなら、交通費がかからず、通学にかかっていた時間でアルバイトできるから…結局かかるお金はそれほど変わらない。さらにはサークル活動など色々経験できるし、交友関係も広がる…という理由だそうです。

ましてや札幌以外…室蘭、旭川、釧路…と考えるなら、本州に行っても同じ事です。なぜか陸地がつながっているだけで安心してしまうのだろうけど、函館や釧路に行くなら、東北地方に飛行機で行った方がよっぽど時間的に近いです。そして、何よりも

北海道内に限定してしまうと、大学の数がそもそも少ない！

ちなみに、全国に大学は800校ほどあるのですが、そのうち北海道にあるのはたったの5%…37校しかありません。学びたい学部が道内にあって、そこに自分の学力が見合っているならいいのですが、ちょっと偏差値が足りない場合は、

自分の学びたい内容に似ている学部学科で妥協しなければならない

ことが多くなってしまいます。そこで『北海道内』という縛りを取ってみると、

全国には多くの、おもしろそうな学部学科がたくさんあります。

福井県立大学の恐竜学部なんて、私にとっては羨ましい限りです。それに、本州に行った卒業生から大学生活について聞くと、皆楽しそうで、一人暮らしを経験して、親のありがたみを実感すると共に、土地柄や文化の違いを体感して価値観も変わるようです。

自分の将来ですから最終的に決めるのは自分ですが、せっかく4年間過ごすのですから、納得がいく進路選択をして欲しいと思っています。最後に、富山大学が作った『地方の国立大の魅力』というパンフレットを配布します。こちらに色々書かれているので是非、保護者の方と一緒に目を通してみてください。進路を決める上で、参考になることがあるかもしれません。

券売機について

券売機のチケットがちょっと変わりました。
これまでの形式だと、自分の手元に模試代や講習代を払った証明が残らなかったのですが、半券式にしました。**チケットの左半分は申込用紙に貼って、右半分は領収書になっていますので、自分で持ち帰ってください。**

